

令和元年度
大津市事業レビュー

事業改善計画 令和4年度更新版

作成：大津市 総務部 行政改革推進課

令和5年9月

令和元年度事業レビュー 事業改善計画 令和4年度更新版

No.	所属	事業	評価	取組状況
1	廃棄物減量推進課	3R推進事業（うち刈り草剪定枝等堆肥化処理事業）	（3）改善し、市が実施	これまでの取り組みに加え、剪定枝チップ化（木質燃料化）実証実験の実施及び新焼却施設の本稼働により堆肥化量を抑制し、経費を削減した。
2	地域交通政策課	放置自転車対策事業	（3）改善し、市が実施	令和4年度においては、保管所の運営日数及び啓発人員をさらに削減した。 また、8月には、自転車の保管環境がより適していると判断し、石山寺保管所を閉鎖し、大江保管所を開設（保管所機能の移設）した。 さらに、撤去した自転車等について、半期に1回ずつリサイクル処分を行い、計791台を処分し、計882（千円）の収入（契約検査課歳入）を得た。
3	消防総務課	消防音楽隊事業	（4）現行どおり	R4年度は演奏依頼が増加したことから、派遣先の規模に応じて隊規模をスリム化、防災広報に特化した派遣をより一層徹底し人件費削減に努めた。
4	福祉政策課	大津市社会福祉協議会事業運営補助事業	（3）改善し、市が実施	補助対象経費の各事業についてヒアリングを行い、補助金交付基準の見直しを行った。 事務費等を含めて事業別に整理し、補助対象を明確にした。



最適な放置自転車対策を検討しています。

事業レビュー評価結果に基づく事業改善計画

所 管 課	環境部廃棄物減量推進課		
事 業 名	3R推進事業(うち刈り草剪定枝等堆肥化処理事業)		
事業レビュー評価結果	(3)改善し、市が実施		
審議員・市民評価者からの主な質問・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・コストについて検討が必要 ・焼却すべき ・市民のリサイクル意識の向上という目的への事業効果が疑問 ・無料堆肥について広報が不十分 ・無料配布ではなく売却出来ないのか ・市を介さない市内民間処理施設で行う体制の構築とは何か 		
今後の取組方針等 (対象事業について、いつまでに、どのようにして、最終どうしていくのか。)	<p>○市内で発生する刈り草剪定枝等について、令和4年度(2022年度)の南北新焼却施設稼働に伴い排出ルールを見直し、新施設の処理能力を見極めながら、市外堆肥化処理から発電を伴う市内焼却処理にシフトすることで、適正処理及びコストの削減を推進する。</p> <p>○完成堆肥について教材等への活用を検討する。</p> <p>○市内民間事業者による刈草剪定枝等の再利用促進</p> <p>○剪定枝のチップ化(木質燃料化)実証実験実施による堆肥化量の抑制</p> <p>※チップ化:機械により木片状態に破碎し、燃料、敷材等に使用すること。</p>		
具 体 的 な ス ケ ジ ュ ー ル	2019年度 (R1)	民間活用による再利用促進 完成堆肥の活用について検討	事業費(決算額) 64,155千円 (財源内訳) (一) 31,242千円 (他) 32,913千円
	2020(R2)年度	民間活用による再利用促進 刈り草剪定枝等の排出ルールの見直し(サイズ他) 剪定枝チップ化(木質燃料化)実証実験実施による 堆肥化量の抑制	事業費(決算額) 55,682千円 (財源内訳) (一) 27,922千円 (他) 27,760千円 見直し効果額 8,473千円減 ※チップ化実証実験による効果
	2021(R3)年度	新環境美化センター稼働 民間活用による再利用促進	事業費(決算額) 32,960千円 (財源内訳) (一) 8,072千円 (他) 24,888千円 見直し効果額 22,722千円減 ※チップ化実証実験による効果
	2022(R4)年度	新北部クリーンセンター稼働に伴い、堆肥化処理から 焼却処理へ一部シフトが可能となり処理費用削減	事業費(決算額) 18,425千円 (財源内訳) (一) 3,734千円 (他) 14,691千円 見直し効果額 14,535千円減 ※チップ化実証実験及び新焼却施設の本稼働による効果

事業レビュー評価結果に基づく事業改善計画

所 管 課	建設部 地域交通政策課 (R4 より建設監理課へ所管替え)		
事 業 名	放置自転車対策事業		
事業レビュー評価結果	(3)改善し、市が実施		
審議員・市民評価者からの主な質問・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・撤去台数に対し、委託料が高いのではないか ・駐輪場運営と包括して、対策をすべき。 ・保管所の開設を減らすべき ・パトロールの回数を減らしながら、事業費を削減すべき ・撤去した車両は、駐輪場で保管すべき ・処分する自転車の有効活用を考えるべき 		
今後の取組方針等 (対象事業について、いつまでに、どのようにして、最終どうしていくのか。)	<p>①委託方法の見直しの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発・撤去作業の段階的削減により全体で現在の委託料の 1/3 を目指す。 ・駐輪場管理運営に係る指定管理業務との包括的な委託等について検討を行うため、他都市で行っている事例の収集及び現指定管理者からの聞き取り等により、課題等を整理し、2020 年度からの新たな委託開始にかかる検討を進める。 <p>※駐輪場指定管理業務と放置自転車対策を包括して行うことが出来る業者の有無を確認する必要がある。</p> <p>②保管所の見直しの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3箇所から1箇所への段階的な集約、市営駐輪場の空きスペースの活用、開設時間の短縮検討し進める。併せて、放置自転車の保管期間の短縮にかかる条例改正について検討を進める。⇒1箇所への集約は令和2年度中に困難と判断したため実施しない。 <p>※石山駅や瀬田駅などは、駐輪場の利用が多くスペースを確保することが難しいことが考えられる。</p> <p>③自転車のリサイクル利用の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法的な課題等を洗い出し、また他都市の事例を参考にしながら、リサイクル販売の可能性を探る。最終的には、自転車のリサイクル販売を開始する。(直販売、卸売業者への販売など販売方法は現時点で問わない) 		
具 体 的 な ス ケ ジ ュ ー ル	2019 年度 (R1) 下半期	<p>①現指定管理者からの聞き取り及び委託方法の決定</p> <p>②保管所の見直しに向けた返還の多い時間のデータ収集整理、削減保管所の選定及び市営駐輪場の空きスペースの確認</p>	<p>事業費(決算額) 16,790 千円 (財源内訳)</p> <p>(一) 16,543 千円</p> <p>(他) 247 千円</p>
	2020(R2)年度	<p>① 委託方式による運営開始 啓発・撤去作業の見直しによる削減(▲7,134 千円)</p> <p>② 保管所 2 箇所への集約(▲382 千円)</p> <p>③ 自転車リサイクルに係る他都市の事例収集・課題の整理</p> <p>④ リサイクル方法の決定</p>	<p>事業費(決算額) 9,182 千円 (財源内訳)</p> <p>(一) 9,040 千円</p> <p>(他) 142 千円</p> <p>見直し効果額 7,608 千円減</p>
	2021(R3)年度	<p>① 駐輪場指定管理選定(R3.4~R3.12) 啓発・撤去作業の見直しによる削減(▲1,866 千円)</p> <p>② 保管所2箇所の開設時間を現在より一時間短縮する</p> <p>③ リサイクルの開始(以後継続取り組み)</p> <p>④ 撤去済放置自転車の処分(1,102 千円)</p>	<p>事業費(決算額) 8,496 千円 (財源内訳)</p> <p>(一) 8,340 千円</p> <p>(他) 156 千円</p> <p>見直し効果額 686 千円減</p>
	2022(R4)年度	<p>① 啓発人数、保管所開設日の削減(委託額▲400 千円)</p> <p>② 撤去済み自転車の処分(▲1,102 千円)</p>	<p>事業費(決算額) 6,962 千円 (財源内訳)</p> <p>(一) 6,757 千円</p> <p>(他) 205 千円</p> <p>見直し効果額 1,534 千円減</p>

事業レビュー評価結果に基づく事業改善計画

所 管 課	消防局消防総務課		
事 業 名	消防音楽隊事業		
事業レビュー評価結果	(4) 現行どおり		
審議員・市民評価者からの主な質問・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的なチラシなどの広報より、音楽や寸劇を取り入れた広報活動のほうが年齢を問わず理解でき、効果が高いと思う。 ・広報効果に疑問があり、消防広報に演奏が必要か。 ・隊員が演奏し、広報することの相乗効果でより効果的な広報が実施できている。 ・隊員が演奏する必要はなく、他の団体やボランティアの人でも良いのでは。 ・時間外勤務を前提とした活動を見直すべきでは。 ・コストよりも隊員の負担、日勤職員の協力など勤務体系の改革について議論すべき。 ・消防音楽隊の隊員に負担が増えなければ継続していただきたい。 		
今後の取組方針等 (対象事業について、いつまでに、どのようにして、最終どうしていくのか。)	<p>事業レビュー評価結果については、現行どおり市が実施と判断されたものの、不要・凍結や改善し市が実施との意見も多く見られたことから、次の視点において、音楽隊の活動体制を再整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日勤者の協力による音楽隊隊員の勤務体制の見直し、勤務時間内での訓練時間の確保と時間外勤務の削減による労務管理 ・派遣内容の精査(防火防災広報に特化した派遣) ・広報スタイルに応じた音楽隊規模の検討、見直し 		
具 体 的 な ス ケ ジ ュ ー ル	2019 年度 (R1) 下半期	今後の活動体制の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間内での活動に係る検討 ・防火防災広報に特化した派遣 ・日勤者の協力などによる音楽隊の体制補充 	事業費(決算額) 390 千円 (財源内訳) (一) 390 千円 (他) 千円
	2020(R2)年度	新体制の施行 <ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間内での活動による隊員の労務管理と時間外抑制 ・派遣内容広報スタイルに見合う隊規模のスリム化 人件費の削減目標 2019(R1)年度比 50%減 	事業費(決算額) 368 千円 (財源内訳) (一) 368 千円 (他) 千円 人件費にかかる見直し効果額 51 千円減 人件費(決算額) 4,182 千円 (R1年度比約 1.2%減)
	2021(R3)年度	再編後の体制における評価・見直し <ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間内での活動は、時間確保面で困難と判断した ・広報スタイルに見合う隊規模のスリム化を推進 ・防火防災広報に特化した派遣を推進 	事業費(決算額) 277 千円 (財源内訳) (一) 277 千円 (他) 千円 人件費にかかる見直し効果額 153 千円減 人件費(決算額) 4,080 千円 (R1年度比約 3.6%減)
	2022(R4)年度	再編後の体制における評価・見直しの継続	事業費(決算額) 294 千円 (財源内訳) (一) 294 千円 (他) 千円 人件費にかかる見直し効果額 255 千円減 人件費(決算額) 3,978 千円 (R1年度比約 6.1%減)

事業レビュー評価結果に基づく事業改善計画

所 管 課	福祉部福祉政策課											
事 業 名	大津市社会福祉協議会事業運営補助事業											
事業レビュー評価結果	(3)改善し、市が実施											
審議員・市民評価者からの主な質問・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・社協の事業内容(活動・実績)が不明瞭 ・補助金の使途が不明瞭(委託費を含めた、事業ごとの支出状況と支出根拠・妥当性を判断できない) ・事業効果等が明確に示されていない。(課題、問題点が見えない。) ・社会福祉事業団と事業内容が被っているのであれば合併すべき。 ・本当に必要な部分のみ補助する等のメリハリをつけて減額する部分も明らかにしてほしい。 ・決して不要とは思わないが、全てについて一度見直す必要がある。 											
今後の取組方針等 (対象事業について、いつまでに、どのようにして、最終どうしていくのか。)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度に、市社会福祉協議会が実施した事務事業評価をもとに事業内容の精査と評価を行い、支援範囲を明確にする。また、補助事業の検証方法等の検討を行なう。 ・補助金の使途や事業効果等を明確化し、令和2年度に市社協が行っている給与制度改革の結果等をふまえて、必要に応じて補助金交付基準の見直しを行う。 ・市社会福祉協議会の広報・啓発活動の強化により、社会福祉協議会の事業内容を周知するなど、会員等を増やす事業展開をしていく。 ・市社会福祉協議会に対し、自主財源の確保を図れる事業の推進、市社会福祉協議会でなければできない事業に特化するなど、経営努力を求めていく。 											
具 体 的 な ス ケ ジ ュ ー ル	2019 年度 (R1) 下半期	<ul style="list-style-type: none"> ・市社会福祉協議会の事業内容の精査と評価を行い、支援範囲を明確にする。 ・他都市の市社会福祉協議会に対する補助金交付状況等を調査、研究する。 ・市社会福祉協議会に対し、自主財源の確保、事業内容の精査など経営努力を求めていく。 										
	2020 年度 (R2)	<ul style="list-style-type: none"> ・委託料・補助金等の補助対象事業の整理を行う。 ・人事制度プロジェクトに伴う給与制度改革(市社協)。 										
	2021 年度 (R3)	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の取り組み結果をふまえて、補助対象経費の各事業についてヒアリングを行い、補助金交付基準の見直しを行う。 										
	2022 年度 (R4)	<ul style="list-style-type: none"> ・同上 										
		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">事業費(決算額)</td> <td style="text-align: right;">131,429 千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">(財源内訳)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">(一)</td> <td style="text-align: right;">131,429 千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">(他)</td> <td style="text-align: right;">千円</td> </tr> </table>	事業費(決算額)	131,429 千円	(財源内訳)		(一)	131,429 千円	(他)	千円		
事業費(決算額)	131,429 千円											
(財源内訳)												
(一)	131,429 千円											
(他)	千円											
		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">事業費(決算額)</td> <td style="text-align: right;">122,965 千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">(財源内訳)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">(一)</td> <td style="text-align: right;">122,965 千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">(他)</td> <td style="text-align: right;">千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">見直し効果額</td> <td style="text-align: right;">8,464 千円減</td> </tr> </table>	事業費(決算額)	122,965 千円	(財源内訳)		(一)	122,965 千円	(他)	千円	見直し効果額	8,464 千円減
事業費(決算額)	122,965 千円											
(財源内訳)												
(一)	122,965 千円											
(他)	千円											
見直し効果額	8,464 千円減											
		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">事業費(決算額)</td> <td style="text-align: right;">113,597 千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">(財源内訳)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">(一)</td> <td style="text-align: right;">113,597 千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">(他)</td> <td style="text-align: right;">千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">見直し効果額</td> <td style="text-align: right;">17,832 千円減</td> </tr> </table>	事業費(決算額)	113,597 千円	(財源内訳)		(一)	113,597 千円	(他)	千円	見直し効果額	17,832 千円減
事業費(決算額)	113,597 千円											
(財源内訳)												
(一)	113,597 千円											
(他)	千円											
見直し効果額	17,832 千円減											
		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">事業費(決算額)</td> <td style="text-align: right;">114,412 千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">(財源内訳)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">(一)</td> <td style="text-align: right;">114,412 千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">(他)</td> <td style="text-align: right;">千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">見直し効果額</td> <td style="text-align: right;">17,017 千円減</td> </tr> </table>	事業費(決算額)	114,412 千円	(財源内訳)		(一)	114,412 千円	(他)	千円	見直し効果額	17,017 千円減
事業費(決算額)	114,412 千円											
(財源内訳)												
(一)	114,412 千円											
(他)	千円											
見直し効果額	17,017 千円減											